

事務事業名		環境にやさしい交通社会形成事業			会計	一般会計					
					事業種別	政策	開始	17	終了		
課等名	地球温暖化対策課	係等名	地球温暖化対策係								
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり								
	施策	57	社会の低炭素化の推進								
目的	対象(誰・何を)	市民、事業所・行政				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	ノーマイカー通勤を推進し、公共交通を利用が図られ、温室効果ガス排出量の削減を図る					飯田市の人口(人) (H24.10.1現在推計人口)		103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量(トン・19年度算出実績は17年度のもの)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	ノーマイカー通勤の参加者数(延べ人数) (10月に一斉行動を実施)			10000	11763	8852	10000			
	成果指標	自転車走行距離(km)			47000	57212	56973	65000			
	定性目標										
事業概要	<p>1 ノーマイカー通勤の励行 「地域ぐるみ環境ISO研究会」が温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー通勤の一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり地域ぐるみで温暖化防止に取り組む。</p> <p>2 EV車、ハイブリッド車の普及 EV車、HV車の普及PRを行い、低炭素な乗り物への転換を促す。</p> <p>3 飯田地球温暖化対策地域協議会とともに、エコドライブを推進する。(ゼロ予算事業)</p> <p>4 自転車利用の推進 自転車市民共同利用システムの運行を核とした自転車利用の推進に取り組む。</p>										
	事業内容										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	<p>1 地球温暖化防止一斉行動の支援 (1)ノーマイカー通勤一斉行動の実施 10月頃</p> <p>2 EV車、ハイブリッド車の普及 (1)EV車の地域ぐるみ環境ISO研究会参加事業所への貸出し</p> <p>3 エコドライブ1000人プロジェクトへの参加促進</p> <p>4 自転車利用の推進 (1)自転車関連イベントの開催 (2)自転車市民共同利用システムの運行 ア 新規貸出事業所、宿泊施設の開拓【新】 イ 一般用貸出拠点の増加による利用推進【新】 ウ 自転車モニター貸出の試行及び運用</p>				<p>1 (1)参加者数</p> <p>2 (1)貸出事業所数 3 参加者数</p> <p>4 (1)開催回数 (2)走行距離</p> <p>ア 箇所 イ 箇所 ウ 貸出回数</p>			<p>1 (1)11763人</p> <p>2 (1)4事業所 3 89人</p> <p>4 (1)2回 (2)57212km</p> <p>ア 5カ所 イ 1カ所 ウ 0回</p>			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		3,567	4,153	4,103	5,403	[25特定財源] (そ)雑入 ( レンタサイクル使用料)					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他					240						
一般財源		3,567	4,153	4,103	5,163						
人件費計(千円)②		536		4,112							
正規職員所要時間		150		1,150							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		4,103	4,153	8,215	5,403						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>自転車貸出しモニター事業の実施は、制度の詳細設計に時間がかかり、冬季からになってしまった。実際に実施されるのは、平成25年度からになる見込みである。自転車貸出しの状況は、順調である。市内で、自転車を利用する人の姿も増えてきており、まだまだ利用は少ないものの、順調に進んでいるといえるだろう。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	電動自転車のバッテリー交換時期を迎えており、交換コストが安価になるよう検討する必要がある。									
	②改革提案	平成25年度に、自転車貸出しを一部有料化の試行をする。									